

働くということ

狭山市立教育センター
所長 稲葉 正

今月の23日は「勤労感謝の日」です。勤労感謝の日は「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」という国民の祝日です。

さて、勤労感謝の日にちなんで「働く」ということを考えたとき、ある言葉を思い出しました。本やテレビで「日本一大切にしたい会社」として紹介された日本理化学工業の大山泰弘元会長の言葉です。この会社はチョークの製造販売をする会社で、障害のある方の雇用を積極的に進めていて、この会社で働く方々は「日本一幸せな従業員」と言われています。

「導師は人間の究極の幸せは 人に愛されること 人にほめられること
人の役に立つこと 人から必要とされること

の4つと言われました。働くことによって愛以外の3つの幸せは得られるのだ。私はその愛までも得られると思う。」

私たちが安心して、不自由なく生活できるのは、社会全体で多くの人が働いて、生活に必要な物を生産してくれているからです。家の中でも食事、洗濯、掃除など数え切れないくらいの仕事があります。それらすべてのこと（勤労）があって私たちの生活が成り立っています。働く人達への「ありがとう」の感謝とともに、みなさん自身も家の中の仕事が少しでもできるといいですね。

働くというのは、一説によると「傍(はた)」を「楽(らく)」にするというのが語源だそうです。自分の為にはなく、傍にいる人を楽にするために働く。そう考えると自然と、やりがいを感じられますし、自分が働いていることの意味というのが分かってきます。

まずは家族、そして学校、地域へと目を向け、働くことにやりがいを感じてほしいと思います。

